



いしやま かずはる
石山 和春 議員

交流人口増加と賑わいの拠点づくりを財源も含め検討する



大会のたび満車状態の駐車場

【質問】 交流・関係人口の拡大には、都市交流事業や東京友の会との交流事業があり重要な施策であると認識しております。それと共に最上管内・県内との交流も活発にしなければなりません。スポーツを通じた交流も大きな柱ではないでしょうか。スポーツの野球関係者のあいだでは、農村環境改善センターグラウンドが広く評価されております。

広さや水はけの良さ環境等が要因のようです。様々な大会が開催され来場者も多くありますが、駐車場に車は入りきれず農道にまで駐車しているのが現状です。交流人口の増加はもちろんです、賑わいの場として整備すれば果たす役割は非常に大きいと思います。町長の考えを伺います。

【町長】 交流・関係人口拡大については、東京都港区、世田谷区をはじめとした県外の自治体との交流や、東京友の会など団体との交流と共に県内の交流も含めた広い視点での取り組みが必要であると考えております。

農村環境改善センターグラウンドについては、主に町内の野球スポーツ少年団がホームグラウンドとして利用しており、グラウンドの広さや水はけの良さに加え、自主的な維持管理により、環境整備も良好で、春季、夏季及び新人交流大会、高円宮賜杯全日本学童軟式野球地区大会など毎年多くの大会が開催され、東根以北の最北地区からも参加されております。

令和5年度の利用実績については、延べ86件、3143人が利用されており、既存の駐車場スペースだけでは大会など多くの方が来られる場合への対応が困難で、利用者は農道などに駐車し



勝利を目指しての大熱戦

ている状況です。農村環境改善センターグラウンドは、利用の頻度からも人気の高さをうかがい知ることができ、交流・関係人口の増加を図るうえで十分な施設環境を有していると感じております。

造成については、地区野球連盟からの要望もありますので、今後財源も含め検討してまいりたいと考えています。



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

HPVワクチンと子宮頸がん検診

子宮頸がんで苦しまないために、私たちができることは、HPVワクチン接種と子宮頸がん検診の受診です

ポイント1

HPVワクチンでHPVの感染を予防

ポイント2

子宮頸がん検診でがんを早く見つけて治療

HPVワクチンは男性にも有効です

【質問】 小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女性を対象に、HPVワクチン（子宮頸がん予防）接種が行われています。女性は自身を守るため、ワクチン接種を行っていますが、男性特有のがんを防ぐ効果があると言われています。

町長 当町の令和3年度のHPVワクチン接種率は13.5%、以降7.5%、16.7%と推移しています。公費による無料接種期間が5年と長いため対象者に通知して期間内接種を進めています。次に平成9年4月2日から平成20年4月1日まで生まれた方が対象のキャッチアップ接種対象者へは、今年度中に接種が終わるように周知してまいります。

男性へのHPVワクチン公費接種については、男性特有のがんなどの予防にもなるとされています。舟形クリニックの先生のご意見をお聞きし、女性同様の公費接種に向け、国や県に財政支援を要望して検討してまいります。

水路・水利組合の現状と課題は

水利組合の課題共有の場を設ける

【質問】 当町の稲作は、水田の大規模化、離農による農家戸数の減少、未整備田で行っている用水路の維持管理作業が困難になってきている、各水路組合等に対して町としてフォローが必要と思うが、

って頂きたいと思っています。また各水利組合が抱えている問題、課題の共有については、水利組合の皆さんが、何らかの形で情報交換などを行って、課題などを共有できる場が設定できるように検討してまいります。



耕作者共助で行う水路の管理作業

町長の考えを伺います。

【町長】 令和2年の基幹的農業者は390人で、うち65歳以上は270人で69.2%を占めているのが現状です。今後の用水路

子宮頸がん予防接種の現状・拡大を財政支援を要望し男性接種を検討する

財政支援を要望し男性接種を検討する